

授業づくりのポイント

- 実態調査やSNSトラブルに関する動画等の具体的な事例を活用し、SNSのいじめや犯罪の危険について実感をもたせる。
- 事後指導では、家庭に呼び掛け、家族全員で利用について振り返る機会を設ける。

単元（題材）について

1 題材名 「SNSの使い方を考えよう」

2 目標

I-5 スマートフォン・携帯電話等使用時の安全

スマートフォン・携帯電話等を使用するときの危険性、SNSに関するトラブル、サイバー犯罪について理解し、安全に利用できるようにする。

3 教材化の視点

SNSアンケートを行った際、該当学年の約3割の児童が自分の携帯電話を持っていることが分かり、持っていないと回答した児童の約8割が中学生になったら携帯電話を所持すると回答した。また、自分の携帯電話を持っていなくても親の携帯電話や家庭のタブレットPCなどを使ってインターネットやゲームアプリ、SNSを利用したことがあると回答した児童は9割近くに迫る。

今後、多くの児童が携帯電話を所持することが想定され、SNSやインターネットを利用してトラブルを起こしたり、巻き込まれたりしないように、携帯電話やインターネットについて正しい知識や使い方、マナーや適切なコミュニケーション能力を身に付けさせる必要がある。そのため、実際の事例を用いながら、児童が身近な問題として考えられるようにする。

指導計画（3時間扱い）

時間	○主な学習活動	◎安全教育の視点に立った留意点
1	○SNSのメッセージ機能を使った友達関係のトラブルについて知り、トラブルになった要因と回避方法について話し合う。	◎児童の多くがSNSを利用したことがあるという実態や、中学生になってSNSを利用していることを想定して考えさせる。 ◎相手の立場に立ってやりとりをすることの大切さに気付かせる。
2 (本時)	○SNSトラブルに関する動画を視聴し、トラブルになった要因と回避方法を考え、話し合う。	◎インターネットは便利だが、犯罪に巻き込まれるおそれがあることに気付かせる。 ◎インターネットの安全な利用の仕方を考えさせる。
3	○今まで学習してきたことを生かして、各グループでケーススタディを行い、考えたことを発表する。	◎SNS東京ノートを活用し、身近なこととして考えさせる。
事後指導	安全指導日を設け、家庭で作ったルール of 厳守について、定期的に振り返る。また、保護者会等で家庭に呼び掛け、家族全員で利用の仕方について振り返るように促す。	

## 指導事例（第2時／3時間）


### 1 ねらい

インターネット上には、「無料」という言葉を用いて個人情報を得る Web サイトやアプリが存在することを理解した上で、危険を回避し、安全に賢くインターネットを利用する態度を育てる。

### 2 ポイント

トラブルへの対処法と未然防止について、具体策とその理由を合わせて考えさせる。

### 3 指導の実際

	○主な学習活動	◎支援・留意点 ■評価（評価方法）
導入	○SNSアンケートの結果から、インターネットの危険性を共有する。 ○本時のめあてを確認する。	◎アンケートの結果を表にして掲示する。 ◎利用経験等から、インターネットの長所と短所を考えさせる。
	インターネットの安全な利用の仕方を考えよう。	
展開	○SNSトラブルに関する動画（導入編）を視聴し、トラブルが生じていることに気付く。 ○トラブルが起きた問題点について話し合う。	◎「無料」という言葉が、どのような意味で使われているのかを考えさせる。
	○トラブルへの対処法と未然防止について考える。 ・もしトラブルに巻き込まれたらどうするか。 ・トラブルに巻き込まれないようにするにはどうしたらよいか。	◎ワークシートに自分の考えを書かせる。 
まとめ	○トラブルへの対処法と未然防止についてグループで話し合う。 ○学級全体で対処法と予防法について話し合い、共有する。 ○SNSトラブルに関する解説動画を視聴する。	◎意見を集約しやすいように、各グループにホワイトボードを用意する。 ◎各グループでまとめた内容をホワイトボードを使って全体で整理し、共通点など考えさせる。
	○インターネットを利用する際、自分が気を付けることを考え、発表し合う。	◎自分で判断することの重要性を、児童に意識付ける。 ◎保護者や学校の先生等、信頼できる大人に相談することの大切さも伝える。 ■安全にインターネットを利用するための方法や自分が気を付けることを具体的に考えている。（ワークシート）

### 児童の感想

- ・「無料」という言葉や画面上の雰囲気だけで安全かどうかを判断することの難しさを実感した。
- ・一瞬で危険なサイトにつながってしまう怖さから、フィルタリングの必要性について考えるようになった。
- ・画面の向こう側にいる人や組織を意識することの大切さが分かった。

### 児童の変容

- ・調べ学習等で様々なサイトにアクセスする際にも、安全な検索サイトを選んで使用しようとする意識が高まり、画面の様子で安易に判断し、アクセスしないように吟味しながら活用する姿が見られるようになった。